

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (289)

フォとフォー

夕食後です。タモツ君のおじいさんとおばあさんが話しています。

「さっき、君、ファ行の才段のとき、ユニフォームのフォーって言ったね。」

「ええ。」

「さすがは君らしいって、思ったよ。」

「あら、どうして？」

「フォとフォーの区別をしているからさ。」

「ほんとうは長音のフォーでなくフォの例を挙げたかったのですけれど、フォスターなんて、人の名しか思いつかなかったから……」

「そう。スプーンとフォークのフォークもフォーだものね。電話機のテレフォンは、小学生にはわからないかな。もっとも、テレフォンでなく、テレホンか。」



【編集部注】フォは短音、フォーは長音です。どちらも音としては1音です。フォスターは、「オールブラックジョー」「草競馬」などで知られるアメリカの作曲家 Stephen Collins Foster (1826~1864) です。